

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-229	高等学校	外国語科	コミュニケーション 英語Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
109文英堂	コⅡ 344	New Edition Grove English Communication Ⅱ		

## 1

### 編修の基本方針

教育基本法第2条に示された目標を達成するにあたり、以下の点を編修の基本方針とした。

- 男女共通に関係のある話題を選び、また学習者一般の生活環境に合うよう留意した。
- 題材の内容は、異文化、環境問題、社会活動、科学、スポーツ、物語など、広く各部門におよぶように留意し、広いものの見方・考え方の養成に努めた。
- 内容は、特定の宗教または世界観に偏らないように努め、時代の要請にこたえ、言語や文化に対する関心を高め、国際理解を深めるようにした。
- 明るいユーモアを含む教材を加えて、学習を楽しいものにさせ、英語への関心を高めるようにした。
- 身につけた英語を実践に移すことを視野に、聞く、読む、話す、書く、の4つの領域の言語活動を有機的に関連づけて指導する場を設けた。
- 英語を通してのコミュニケーション能力を養成するために、随所にリスニングやスピーキングの機会を設けた。

## 2

### 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>LESSON 1</b> ■ Mt. Fuji: The Pride of Japan	日本が世界に誇る富士山についての理解を深め、我が国の伝統と文化を尊重し、世界の中の日本および日本文化について考えるよう促した(第5号)。	6~10ページ 14ページ
<b>LESSON 2</b> ■ Yes, I Do Climb Ashima Shiraishi	世界的に活躍する女性が発するメッセージを通して、自身の可能性について考え、広げるきっかけとした(第2号)。	16~20ページ 24ページ

<b>LESSON 3</b> <b>■ A Penguin Called Happy Feet</b>	傷ついたペンギンを人間と同様に手厚く救護する人々の姿から、生命を尊び、自然を大切にする態度を養うきっかけとした（第4号）。	26~30ページ 34ページ
<b>LESSON 4</b> <b>■ Warka Water</b>	エチオピアの水不足を目の当たりにしたデザイナーが、その解決策を考える過程を知ること、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うよう促した（第3号）。	36~42ページ 46ページ
<b>FOR READING 1</b> <b>■ Salty Coffee</b>	小さな行き違いから始まった男性と女性の物語を読み、登場人物のそれぞれの心情を想像し、豊かな情操を培う場とした（第1号）。	48~51ページ
<b>LESSON 5</b> <b>■ A Hidden History of Tomatoes.</b>	トマトの起源と世界に広まる経緯を知り、幅広い知識を身につけ、真理を求める態度を養うきっかけとした（第1号）。	54~60ページ 64ページ
<b>LESSON 6</b> <b>■ Iceland</b>	自然環境が厳しいアイスランドで、工夫をしながら生活を楽しんでいる人々の様子を知り、自国と異なる生活を送る人々の考え方を尊重する態度を養う場とした。（第5号）。	66~72ページ 76ページ
<b>LESSON 7</b> <b>■ Which Jam Would You Like?</b> by Sheena Iyengar	人間が選択をする際にどのような心理的作用が働くかを知り、幅広い知識と教養を身につけるきっかけとした（第1号）。	78~84ページ 88ページ
<b>LESSON 8</b> <b>■ Paper Buildings</b>	世界中の災害現場で紙の建築による支援をする建築家の姿から、正義と責任、協力を重んじ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを促す場とした（第3号）。	90~96ページ 100ページ
<b>LESSON 9</b> <b>■ Lunch Delivery in Mumbai</b>	弁当配達というインド独自の文化を尊重するとともに、日本との共通点に共感し、自国と他国それぞれの文化を受け入れ、国際社会に対応した心を育むきっかけとした（第5号）。	102~108ページ 112ページ
<b>LESSON 10</b> <b>■ Saving Wildlife from Global Warming</b>	地球温暖化がもたらす変化や動植物に及ぼす影響を知り、環境の保全に寄与する態度を養うきっかけとした（第4号）。	114~120ページ 124ページ
<b>FOR READING 2</b> <b>■ Rickshaw Girl</b> by Mitali Perkins	家族を思い、思いきった行動に出た少女の姿を通して、正義と責任、男女の平等を重んずる精神を養う場とした（第3号）。	127~139ページ

# 3

## 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 巻を通じて、英語でコミュニケーションをとる際に役立つよう、生徒にわかりやすい平易な英語を心がけた。
- 各部のタイトルを英語にする（Master the Pattern, Put It All Togetherなど）、Master the Contentsの指示文を英語にするなど、英語での授業を念頭に様々な工夫を取り入れた。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-229	高等学校	外国語科	コミュニケーション 英語Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
109文英堂	コⅡ 344	New Edition Grove English Communication Ⅱ		

## 1

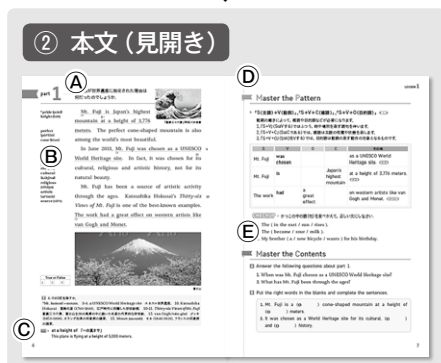
### 編修上特に意を用いた点や特色

「コミュニケーション英語」という科目名が示すように、コミュニケーションの一つの方法として英語を用いることを目標に以下の点に考慮し、本書の特色とした。

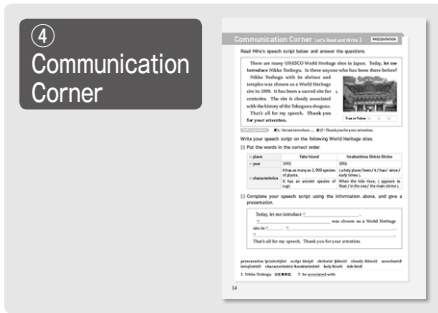
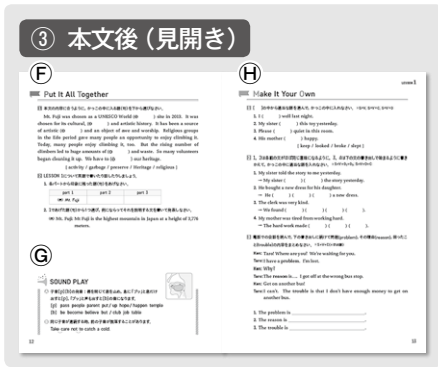
#### 1. 言語材料について .....

- 広くアメリカで用いられる表現、語法、綴りを中心とした。
- 題材の形式は、説明文、スピーチ、物語などを採用した。
- 言語材料の使用にあたっては、指導要領に基づき、基本的な文構造・文法事項を用いた。
- 教材の配列にあたっては、段階的に1課のパート数と、1パートの語い数が増えるように全1課の正課を配したほか、特にリーディングをねらいとする教材を2つ置いた。

#### 2. 教科書の構成 (LESSON 1~10) .....



① 中扉	
本文に関連した3つの写真を配し、リスニング問題と英語の質問で本文への動機付けを行う。	
② 本文	
A 日本語の質問	質問に対する答えを探しながら本文を読むことで、内容理解の手助けとした。
B 傍注	新出語と発音を表記したほか、本文の内容理解を問うリスニング問題 (True or False) を設けた。
C 脚注1段目	itやtheyなどが何を指すかを問う質問を置いた。
脚注2段目	初出の固有名詞、意味のとりにくい表現、慣用表現などを置いた。慣用表現には生徒が意味を調べる際の助けになるよう、辞書で引く単語に下線を付した。
脚注3段目	新出文法・慣用表現以外の重要な語法などを例文とともに掲載した。
D Master the Pattern	本文で扱う文構造・文法項目の簡潔な説明と確認問題を置いた。
E Master the Contents	本文の内容に関する英問英答の問題を2題と、イラストや表形式など出題形式を工夫した内容理解問題1問を用意し、本文の理解を測る場とした。



③ 本文後	
① Put It All Together	課全体の内容をまとめた文を完成させる問題と本文の内容について書いたり話したりする問題を置いた。
② SOUND PLAY	綴りから発音を予測できるように、発音上のポイントをまとめた。
③ Make It Your Own	本文で学習した文構造・文法項目の練習問題を項目ごとに用意した。

④ Communication Corner	
聞く、読む、話す、書く、の4つの領域の言語活動の統合を図る場とした。奇数課ではレポートなどを使って「読む」「書く」を中心とした活動を、偶数課では対話文を使って「聞く」「話す」を中心とした活動を行う。	

# 2

## 対照表

### コミュニケーション英語Ⅱの「内容」

(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。

- ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。
- ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。
- エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	記当時数
<b>LESSON 1</b> <b>■ Mt. Fuji: The Pride of Japan</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本が世界に誇る富士山の歴史と現状について知る(ア)(イ)。</li> <li>• 世界遺産に関して読み、自身のスクリプトを作成してプレゼンを行う(ウ)(エ)。</li> </ul>	6~10ページ 14ページ	9
<b>LESSON 2</b> <b>■ Yes, I Do Climb Ashima Shiraishi</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 白石阿島さんのスピーチを読み、挑戦することの意味を理解する(ア)(イ)。</li> <li>• 著名人に送るメッセージに関する会話を聞いてから、討論をする(ウ)。</li> </ul>	16~20ページ 24ページ	9
<b>LESSON 3</b> <b>■ A Penguin Called Happy Feet</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ニューゼalandの海岸で1羽のペンギンが発見され、海に戻されるまでの出来事を理解する(ア)(イ)。</li> <li>• ペンギンに関するレポートを読み、自身のレポートを完成する(エ)。</li> </ul>	26~30ページ 34ページ	9
<b>LESSON 4</b> <b>■ Warka Water</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• エチオピアのワーカウォータータワーが生まれた経緯を理解する(ア)(イ)。</li> <li>• 水不足に関するディベートを聞き、ペットについてディベートする(ウ)。</li> </ul>	36~42ページ 46ページ	11

FOR READING 1 ■ Salty Coffee	<ul style="list-style-type: none"> <li>塩味のコーヒーをきっかけに始まった男性と女性の物語と意外な結末について理解し、登場人物の心情を読みとる(ア)(イ)。</li> </ul>	48～51ページ	5
LESSON 5 ■ A Hidden History of Tomatoes	<ul style="list-style-type: none"> <li>トマトの起源や、食べ物として広く親しまれるようになった過程を理解する(ア)(イ)。</li> <li>野菜の収穫量に関するプレゼン原稿を読んで理解し、自身の原稿を作成して発表する(ウ)(エ)。</li> </ul>	54～60ページ 64ページ	11
LESSON 6 ■ Iceland	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイスランドの人々が様々な工夫をして環境と調和した豊かな生活を送っている概要をとらえる(ア)(イ)。</li> <li>日本と類似する国に関するディスカッションを聞き、ディスカッションをする(ウ)。</li> </ul>	66～72ページ 76ページ	11
LESSON 7 ■ Which Jam Would You Like? by Sheena Iyengar	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジャムの購入に関して行われた実験を理解し、人が選択をする際の考え方を知る(ア)(イ)。</li> <li>書籍の購入方法に関するスピーチを読み、自身の原稿を作成して発表する(ウ)(エ)。</li> </ul>	78～84ページ 88ページ	11
LESSON 8 ■ Paper Buildings	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築家の坂 茂氏が紙で建築物を作るようになった経緯やそこにかかる思いをとらえる(ア)(イ)。</li> <li>インタビューを聞き、クラスメートにインタビューをしたりされたりする(エ)。</li> </ul>	90～96ページ 100ページ	11
LESSON 9 ■ Lunch Delivery in Mumbai	<ul style="list-style-type: none"> <li>ムンバイで人気の弁当配達システムと、それを楽しみにする人々について理解する(ア)(イ)。</li> <li>コードに関する説明を読んで理解し、自身のコードを作成して説明する(ウ)(エ)。</li> </ul>	102～108ページ 112ページ	11
LESSON 10 ■ Saving Wildlife from Global Warming	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化が動植物に与える影響や自分たちに課された課題を理解する(ア)(イ)。</li> <li>環境保全に関するディスカッションを聞き、クラスメートとディスカッションをする(エ)。</li> </ul>	114～120ページ 124ページ	11
FOR READING 2 ■ Rickshaw Girl by Mitali Perkins	<ul style="list-style-type: none"> <li>お父さんを助けようと、計画を立てた少女が行動を起こし、失敗しながらも家族の大切さを知る物語の要点をとらえ、登場人物それぞれの心情を読みとる(イ)。</li> </ul>	127～139ページ	8
計			117

(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
各課本文 各課 SOUND PLAY 発音のポイント	ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。	全般 12, 22, 32, 44, 62, 74, 86, 98, 110, 122ページ 141ページ	1
Reading Skills 1～4 各課 Communication Corner Communication Activities	イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。	144～151ページ 14, 24, 34, 46, 64, 76, 88, 100, 112, 124ページ 143ページ	各2 1
Reading Skills [基本的なスキル] Reading Skills 1～4 各課中扉	ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。	4ページ 144～151ページ 5, 15, 25, 35, 53, 65, 77, 89, 101, 113ページ	1
各課 Communication Corner	エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。	14, 24, 34, 46, 64, 76, 88, 100, 112, 124ページ	
計			11

## 「英語に関する各科目に共通する内容等」

1 言語活動を行うにあたって、[言語の使用場面の例] 及び [言語の働きの例] を以下の箇所で取り上げた。

[言語の使用場面の例]

a 特有の表現がよく使われる場面

b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面

c 多様な手段を通じて情報などを得る場面

[言語の働きの例]

a コミュニケーションを円滑にする

b 気持ちを伝える

c 情報を伝える

d 考えや意図を伝える

e 相手の行動を促す

図書構成・内容	学習指導要領の内容		配当 時数
	言語の使用場面	言語の働き	
LESSON 1 Put It All Together 2 (以下PIAT2)	b(学校)	c(説明する)	12ページ
LESSON 1 Communication Corner (以下CC) Let's Read and Write (以下R&W) 1	c(スピーチ)	a(間をとる), c(説明する)(描写する), b(感謝する)	14ページ
LESSON 2 PIAT2	b(学校)	c(説明する)	22ページ
LESSON 2 CC Let's Listen and Speak (以下L&S) 1	b(学校)	a(話しかける)(間をとる), d(賛成・反対する), e(注意を引く)(依頼・提案する)	24ページ
LESSON 3 PIAT2	b(学校)	c(説明する)	32ページ
LESSON 3 CC R&W2	c(レポート)	c(説明する)(報告する)	34ページ
LESSON 4 PIAT2	b(学校)	c(説明する), d(主張する)	44ページ
LESSON 4 CC L&S2	a(討論)	a(話題の発展), b(感謝する), c(描写する), d(主張する), e(指示する)	46ページ
LESSON 5 PIAT2	b(学校)	c(説明する), d(主張する)	62ページ
LESSON 5 CC R&W3	c(スピーチ)	a(話題の発展), c(説明する)(推測する), e(注意を引く)	64ページ
LESSON 6 PIAT2	b(学校)	c(説明する), d(主張する)	74ページ
LESSON 6 CC L&S3	b(学校)	a(話題の発展)(相づちを打つ)(聞き直す), b(同意する)(驚く), c(例を示す)(説明する)(理由を述べる), d(情報を確認する)	76ページ
LESSON 7 PIAT2	c(スピーチ)	c(説明する), e(注意を引く)	86ページ
LESSON 7 CC R&W4	c(スピーチ)	a(あいさつをする)(話題の発展), b(感謝する), c(例を示す)(説明する)(理由を述べる)	88ページ
LESSON 8 PIAT2	c(スピーチ)	c(説明する), e(注意を引く)	98ページ
LESSON 8 CC L&S4	c(インタビュー)	a(話題の発展)(聞き直す), b(同意する), c(説明する), d(情報を確認する), e(依頼する)(助言する)	100ページ
LESSON 9 PIAT2	a(討論)	c(説明する), d(仮定する)(賛成する)(反対する)	110ページ
LESSON 9 CC R&W5	c(スピーチ)	c(説明する)(描写する), e(注意を引く)	112ページ
LESSON 10 PIAT2	a(討論)	c(説明する), (理由を述べる), d(賛成する)(反対する)	122ページ
LESSON 10 CC L&S5	b(学校)	a(相づちを打つ)(話題の発展), b(驚く), c(説明する), (理由を述べる)(例を述べる)(情報をまとめる), d(申し出る)	124ページ

## 2 言語活動を行うに当たって、示された言語材料を以下の箇所に取り上げた。

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
巻を通じて700語の新語 (巻末WORD LIST B, C参照)	ア 語、連語及び慣用表現 (ア) 語 b「コミュニケーション英語Ⅱ」に あつては、aに示す語に700語程度の新語 を加えた語	170～176ページ
各課本文の脚注に示し、巻末のリストにまとめたうえで 例文を付した。	(イ) 連語及び慣用表現のうち、運用度の高いもの	163～164ページ 165～169ページ

LESSON 1 (S+V / S+V+C / S+V+O / S+V+O+O / S+V+O+C / S+V+C(=that節)) LESSON 4 (S+V(+O)+O(=that節/疑問詞節など) LESSON 5 (S+V+O(=that節の受け身) / S+V+O+O, S+V+O+Cの受け身) LESSON 6 (S+V(=be動詞)+形容詞+that節) LESSON 7 (S+V+O+C(=現在分詞/過去分詞)) LESSON 8 (S+V+O+C(=原形不定詞)) 文法のまとめ1~4	イ 文構造のうち、運用度の高いもの	7, 9, 11 ページ 39, 41 ページ 57, 59 ページ 73 ページ 81 ページ 93 ページ 152, 155, 156, 157, 159 ページ
LESSON 6, 8, 10 文法のまとめ3~5	ウ 文法事項 (ア) 不定詞の用法	69, 93, 115, 117, 121 ページ 157, 159, 160 ページ
LESSON 7, 8 文法のまとめ4	(イ) 関係代名詞の用法	79, 85, 97 ページ 158 ページ
LESSON 9 文法のまとめ5	(ウ) 関係副詞の用法	103, 107 ページ 161 ページ
LESSON 3, 4 文法のまとめ2	(エ) 助動詞の用法	27, 29, 37 ページ 154, 155 ページ
LESSON 6 文法のまとめ3	(オ) 代名詞のうち、itが名詞用法の句及び節を指すもの	69 ページ 157 ページ
LESSON 2, 4 文法のまとめ1, 2	(カ) 動詞の時制など	17, 19, 21, 43 ページ 153, 155 ページ
LESSON 9 文法のまとめ5	(キ) 仮定法	105, 109 ページ 161 ページ
LESSON 8 文法のまとめ4	(ク) 分詞構文	91, 95 ページ 159 ページ

### 3 2に示す言語材料を用いるに当たっては、次の事項について以下の箇所で配慮を加えた。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
標準的なアメリカ英語によっているが、コミュニケーション英語Ⅱでは海外の芸術にも影響を与えている富士山 (LESSON 1) や海外で活躍する日本人の姿 (LESSON 2, 8) を紹介することで英語が国際的なコミュニケーションの場で活用されていることを表現した。また、英語を公用語とするインドの話題 (LESSON 9) やインド生まれのアメリカ児童文学作家の作品 (FOR READING 2) も取り上げた。	ア 現代の標準的な英語によること。ただし、様々な英語が国際的に広くコミュニケーションの手段として使われている実態にも配慮すること。	5~14, 15~24, 89~100, 101~112, 125~140 ページ
Make It Your Own は文法の練習をする場であるが、生徒が日常生活で使用するだろう場面を示したり、2つの文を比べてニュアンスの違いを確認したりすることで実際の使い方を示した。	イ 文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導すること。	13, 33, 45 ページ
各パートの文法解説をする Master the Pattern においては文法的な用語をできるだけ用いず、簡潔な説明にとどめた。また、例文を挙げる際には日常生活で使うであろう状況を考慮し、身近な生活ですぐに使えるよう覚えやすい短めのものを作成した。	ウ コミュニケーションを行うために必要となる語句や文構造、文法事項などの取扱いについては、用語や用法の区別などの指導が中心とならないよう配慮し、実際に活用できるよう指導すること。	全般

### 4 生徒が英語に触れる機会を充実するために、以下の配慮を加えた。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
・巻を通じて、英語でコミュニケーションをとる際に役立つよう、生徒にわかりやすい平易な英語を心がけた。 ・各部のタイトルを英語にする (Master the Pattern, Put It All Together など)、Master the Contents の指示文を英語にするなど、英語での授業を念頭に様々な工夫を取り入れた。	4 英語に関する各科目については、その特質にかんがみ、生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする。その際、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるよう十分配慮するものとする。	全般 全般